

国語科 《第1学年》年間指導計画・評価計画

担当（大角 弥生・合田 淳郎）

国語科 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる。

国語科 第1学年の目標

- （１） 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。
- （２） 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。
- （３） 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。
- （４） 字形を整え、字の大きさ配列などについて理解して、楷書で書く態度や漢字の行書の基礎的な書き方を身につけようとする態度を育てる。

関は国語への関心・意欲・態度、話は話す・聞く能力、書は書く能力、読は読む能力、言は言語についての知識・理解・技能

★は言語活動例

□ 年間指導時数 学習指導要領の配当時数 140時間

話すこと・聞くこと：16時間 書くこと：30時間 読むこと・伝統的な言語文化と国語の特質：74時間 書写：20時間

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準【B】	評価方法	小学校との関連
4	ガイダンス	国語を学ぶ意義、今後の学習、授業の進め方について説明し意欲を高める	中学校の国語の学習の見通しをもたせる。	関 意欲的に話を聞き、取り組もうとする	・授業観察	
	野原はうたう 声を届ける 4時間 声を届ける／書き留める／調べる／続けてみよう 2時間	◎詩の中における語句の意味を的確に捉える。(読(1)ア) ◎音声の動きや仕組みについて関心をもち、理解を深める。(伝国(1)イ(ア)) ★詩を音読する。(読(2)ア) ◎話す速度や音量、調子や間の取り方に気をつけながら、場に合わせて話す。(話聞(1)ウ) (伝国(1)イ(ア)) ◎日常生活の中からテーマを決めて材料を集め、自分の考えを明確にして書く。(書(1)ア・ウ) ◎文章の中の語彙について関心をもち、	1 四つの詩の作者である生き物になったつもりで、情景や心情を想像しながら音読する。 ・詩に表現された語句の意味に注意する。 ・それぞれの詩の中で、気に入ったところに印を付けたり、線を引いたりしながら読む。 2 速さ、声の強弱、間の取り方、声の高さや調子を変えて音読する。	関 図書館の活用方法について知ろうとしている。 読 目的や内容に応じて調べ方を工夫している。 書 集めた情報を整理して記録している。 言 語彙に関心をもち、分からない語や注意したい語を調べている。 関 作品の表現に関心をもち、すすんで音読の練習に取り組もうとしている。 読 作品の表現の特徴や効果につ	・授業観察 ・音読発表 ・ワーク ・ノート ・定期考査 ・漢字小テスト	「詩の楽しみ方を見つけよう」 (5年) 「気になる記号」 (3年) 「本で調べて、ほうくしよう」 (3年) 「どきん」 (3年) 「春のうた」「のはらうた」 (4年)

5	1 学びをひらく 花曇りの向こう 4時間 「漢字を確認しよう」	<p>(伝国(1)イ(リ)) ★集めた情報を整理し、記録する。(書(2)イ)</p> <p>◎場面の展開や登場人物の描写に着目して、内容を読み取る。(読(1)ウ) ◎作品の展開に注意して、登場人物の気持ちの変化を捉え、題名に込められた意味を考える。(読(1)エ) ◎作品の中における語句の意味を的確に捉え、内容を理解する。(読(1)ア) ★場面や登場人物の描写に着目して物語を音読する。(読(2)ア)</p> <p>○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ア)(イ))</p>	<p>◇声の強弱や間の取り方などを変えることで、伝わる印象が異なることを気づかせる。</p> <p>1 作品を四つの場面に分け、それぞれの時・場所・登場人物を確認する。(学習1) 2 「僕」の気持ちがわかる様子や行動、会話を押さえ、そこに表現された気持ちを考える。(学習2-1) 3 冒頭と結末の場面を比べ、「僕」の気持ちの変化が表現されている風景や物を考える。(学習2-2) ◇表現に着目させ、変化を読み取らせる。 4 「僕」の気持ちの変化を整理し、作品の題名に込められた意味を考える。(学習2-3) 5 「僕」のものの見方や感じ方などで共感できるところがないか話し合う。(学習3) 6 学習を振り返る。 ・作品の冒頭と結末で、「僕」はどのように変化したか。それはどのような描写で表現されているか。</p>	<p>言 関 話 言 関 読 言</p>	<p>いて、自分なりの考えをまとめている。 音量や抑揚などを工夫して音読している。 表現の特色を理解している。 聞き取りメモの重要性を理解し、積極的にメモを取る練習をしようとしている。 情報を正確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。 話の文脈の中で、語句の意味を的確に捉えている。</p> <p>学習の課題に沿って作品を読み、情景や登場人物の気持ちを想像しようとしている。 場面の展開を確かめながら、少年の気持ちを考え、その変化を捉えている。 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。</p> <p>漢字の組み立てに関心をもち、部首を基に既習の漢字を調べようとしている。 例の漢字を基に、漢字の組み立てと部首について理解し、既習の漢字を調べている。</p>	<p>・授業観察 ・ワーク ・ノート ・定期考査 ・漢字小テスト</p>	<p>「海をかつとばせ」 (3年) 「ごんぎつね」 (4年) 「わらぐつの中の神様」 (4年) 「カレーライス」 (6年)</p>
---	--	---	--	---	---	--	---

6	<p>わかりやすく説明しよう 観点を立てて書く 5時間</p> <p>練習 情報を的確に聞き取る 1時間</p> <p>漢字1 漢字の組み立てと部首 1時間</p>	<p>◎身近な生活の中から、伝える目的や相手を明確にして情報を集める。(書(1)ア) ◎説明する観点を決めて情報を整理し、わかりやすい構成を考えて書く。(書(1)イ)</p> <p>◎情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモに取る。(話聞(1)エ)(伝国(1)イ(イ))</p> <p>◎漢字の組み立てと部首を理解する。(伝国(1)ウ(ア))</p>	<p>・題名の意味について、どのようなことを考えたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 伝える目的や相手を決め、「お気に入りの場所」を紹介する文章を書くことを確認する。 2 身近な場所、思い出の場所などから、説明する題材とその情報を集める。 3 書く観点を決め、情報を整理する。 4 わかりやすく伝えるための構成を考え、短い文や言葉でメモを書く。 5 構成メモを基に200字程度で書く。 6 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 7 学習を振り返る。 <ol style="list-style-type: none"> 1 話を聞くとき、要点を押さえてメモを取ることの重要性を理解する。 2 教科書を閉じた状態で「先生からの連絡」を聞き、メモを取る。 3 メモの取り方について話し合う。 4 「放送委員長からの連絡」を聞き、自分が放送委員になったつもりで、必要な情報を聞き取る。 5 メモの取り方や、その意義について確認する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 教科書のイラストを基に、漢字の組み立てを考える。 2 偏旁冠脚と部首の種類を理解する。 3 漢和辞典を利用して練習 	<p>関 題材を適切に選択してまとめ相手にわかりやすく伝える文章を書こうとしている。</p> <p>書 身近な生活の中から目的や相手に応じた情報を集め、観点を決めて整理してわかりやすい文章を書いている。</p> <p>言 「お気に入りの場所」のよさを表す言葉を用いて、読み手が具体的にイメージできるように書いている。</p> <p>関 メモの重要性を理解し、積極的にメモを取る練習をしようとしている。</p> <p>話 情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモをしている。</p> <p>言 話の文脈の中で、語句の意味を的確に捉えている。</p> <p>関 漢字の組み立てに関心をもち、部首を基に既習の漢字を調べようとしている。</p> <p>言 漢字の組み立てと部首につい</p>	<p>・授業観察 ・ワークシート ・作文</p> <p>・授業観察 ・ワーク ・聞き取りテスト</p> <p>・授業観察 ・ワークシート ・漢字小テスト ・定期考査</p>	<p>「すいせんします」 (5年) 「よい聞き手になろう」 (3年) 「聞き取りメモの工夫」 (4年) 「豊かな言葉の遣い手になるには」 (5年)</p> <p>へんとつくり (3年) 漢字の組み立て (4年)</p>
---	--	---	--	---	--	---

	<p>2 新しい視点へ ダイコンは大きな根？ 食 3時間</p>	<p>文章と図の関連や段落と段落の関係に注意して文章の構成を捉える。(読(1)イ・エ)(伝国(1)イ(Ⅱ)) 集めた材料を基に、段落の役割を考えて文章を構成する。(書(1)イ) 文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ア)(Ⅰ))</p>	<p>問題を解く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 作品を通読し、初めて知ったことをノートにまとめる。(学習1) 2 各段落の中心となる内容を20字程度でまとめる。(学習2-1) 3 「問い」を投げかけている段落と、それに対する「答え」を示している段落を探す。また、それ以外の段落がどのような役割をもっているのか考える。(学習2-2) 4 筆者は、わかりやすく説明するためにどのような工夫をしているか、考えたことを話し合う。(学習3) 5 学習を振り返る。 		<p>て理解し、既習の漢字を調べている。</p> <p>身近な「野菜」について書かれた文章に関心をもち、段落ごとの内容をまとめようとしている。</p> <p>段落の役割を考える際に、文と文、段落と段落を接続する語句に着目している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワーク ・ノート ・定期考査 ・200 字作文 	<p>「ありの行列」 (3年) 『『かむ』ことの力」 (4年) 「おもちゃの作り方」 (2年)</p> <p>「ようこそ、わたしたちの町へ」(6年)</p>
	<p>ちょっと立ち止まって 6時間</p>	<p>身近な生活の中から、伝える目的や相手を明確にして情報を集める。(書(1)ア) 説明する観点を決めて情報を整理し、分かりやすい構成を考えて書く。(書(1)イ)(伝国(1)イ(Ⅱ))</p>	<p>図との対応に注意しながら、全文を通読する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図を三つのまとまりに分け、それぞれのまとまりの内容を捉える。(学習2-1) 2 本文を三つのまとまりに分け、それぞれのまとまりの内容を捉える。(学習2-1) 3 本論を幾つかに分け、筆者の説明を理解する。また、三つのまとまりをそれぞれ要約する。(学習2-2) 4 文章全体を通して、筆者の主張を捉える。 5 日常生活の中で筆者の主張を生かせる場面がないか考える。(学習3) 6 学習を振り返る。 		<p>図を使って説明された文章に興味をもち、文章と図を対応させて読もうとしている。</p> <p>筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げている。文章と図の関連や段落の効果を捉えて、内容を理解している。指示する語句が表す部分を適切に読み取っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワーク ・ノート ・定期考査 ・200 字作文 	<p>「サクラソウとトラマルハナバチ」 (5年) 「ウナギのなぞを追って」 (4年) 「見たてる」(5年) 「生き物は円柱」 (5年) 『『鳥獣戯画』を読む」 (6年)</p>
	<p>練習 記録のしかたを工夫する 1 時間</p>	<p>◎集めた情報を分類するなどして整理し、記録のしかたを工夫する。(書(1)イ)</p>	<p>1 「記録の例」を見て、内容や書き方について、どのような工夫がされているか話</p>		<p>「記録の例」を見て、工夫されている点について考えようとし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・ノート 	

	<p>言葉を集めよう 2時間</p>	<p>◎詩の表現の特徴を捉えて読み、描かれた情景を想像する。(読(1)エ)</p> <p>◎観点を基に、多くの言葉を集め、その言葉を使って日常生活を題材とした紹介文を書く。(書(1)ア)</p>	<p>知る。</p> <p>2 「てがみ」「太陽」「魚と空」を音読する。</p> <p>3 詩の表現技法を理解する。</p> <p>4 3編から一つ詩を選び、情景を思い描きながら朗読する。</p> <p>1 導入の例文を読み、的確に伝えるために、さまざまな言葉の意味を知り、文脈に合う適切な言葉を見つけ出す必要があることを理解する。</p> <p>2 食べ物を一つ決め、観点を立てて言葉を集める。</p> <p>3 例文を参考に200字程度で、自分の好きな食べ物について紹介文を書く</p> <p>3 例文を参考に200字程度で、自分の好きな食べ物について紹介文を書く</p>	<p>読 言 関 書 言 関 読 言 関 言 関</p>	<p>詩の表現から作者の思いに触れている。</p> <p>3編の詩の形や表現の特徴に着目しながら朗読している。</p> <p>日常生活の中から観点を基に多くの言葉を集めようとしている。</p> <p>例文の観点を参考にして、多くの言葉を集めて、好きな食べ物についての紹介文を書いている。</p> <p>紹介文を書くために、観点に沿った意味の言葉を多く集めている。</p> <p>言葉のもつ力について考えをもとうとしている。</p> <p>「五・七・五」や下の句を読み取り、内容を理解している。</p> <p>語句の文脈上における意味を理解し、言語感覚を磨いている。</p> <p>言葉の決まりについて関心をもち、言葉の単位とその働きを理解しようとしている。</p> <p>文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて整理した内容を理解している。</p> <p>作品に書かれているものの見方や考え方に関心をもち、読書紹介に生かそうとしている。</p>	<p>・ワーク</p> <p>・定期考査</p> <p>・200字作文</p> <p>・授業観察</p> <p>・ノート</p> <p>・定期考査</p> <p>・作文</p> <p>・授業観察</p> <p>・ノート</p> <p>・ワーク</p> <p>・定期考査</p> <p>・ワークシート</p> <p>・授業観察</p> <p>・ノート</p> <p>・ワーク</p> <p>・定期考査</p> <p>・授業観察</p> <p>・スピーチ</p>	<p>主語・述語 (2年)</p> <p>修飾語 (3年)</p> <p>「読書生活について</p>
	<p>空を見上げて 2時間</p>	<p>◎言葉にはどのような力があるのかを読み取り、言葉について考えを深める。(読(1)ア)</p> <p>◎文章の構成や表現の特徴について、自分の考えをもつ。(読(1)エ)</p> <p>○文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広げる。(読(1)オ)</p>	<p>1 作品を通読し、文章の構成を理解する。</p> <p>2 「五・七・五」の句に込められた思いや内容を読み取る。(学習1)</p> <p>3 「みあげれば——」の句に、下の句をつける。(学習2-1)</p> <p>4 人の心を動かす言葉について考える。(学習2-2)</p>				
	<p>文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 2時間</p>	<p>◎言葉の単位とその働きについて理解する。(2年伝国(1)イ(ウ))</p>	<p>1 導入の例文を読み、言葉の区切りについて考える。</p> <p>2 p240文法1「言葉の単位」を読み、言葉の単位とそれぞれの性質を理解する。</p>	<p>関 言</p>			
	<p>読書生活を豊かに 光る地平線 私が選んだこの一冊</p>	<p>◎本から情報を集めるための方法を身につけ、目的に応じて必要な情報を読み取る。(読(1)カ)</p>	<p>1 本や文章を読み、必要に応じて引用して紹介する学習活動について理解する。</p>	<p>関</p>			<p>「読書生活について</p>

8	読書案内 読書コラム 本との出会い 3時間	◎作品に書かれているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くする。(読(1)オ) ★課題に沿って本を読み、伝えたい内容に合わせて引用して紹介する。(読(2)ウ)	2 「光る地平線」を、後で読書紹介することを意識して読む。 ◇読書紹介に生かすことを意識させる。 3 「私が選んだこの一冊」を読み、ポップや紹介箱などを用いて、読んだ本について紹介する方法を理解する。 4 これまでに読んだ本の中から一冊を選び、引用する部分を考えて、ポップ・紹介箱・スピーチのいずれかの方法で紹介する。 5 作成したポップ・紹介箱を展示したり、スピーチを行ったりして、感想カードなどで友達と感想を交流する。 ◇「読書コラム 本との出会い」の宮崎駿氏の推薦文を読み、書き方の参考にさせる。 6 学習を振り返る。	話 読 言	本の紹介や感想をわかりやすく伝えている。 紹介することを意識して作品を読んでいる。 伝えたい内容に合った言葉や表現を的確に抜き出し、効果的に表現している。	・読書記録	考えよう (4年) 「天気を予想する」 (5年)
9	4 つながりの中で 星の花が降るころに 5時間	◎文脈の中で使われている語句の意味を捉え、情景を想像して読む。(読(1)ア) (伝国(1)イ(イ)) ◎登場人物の気持ちや行動、場面の展開や描写に着目して読み、自分の考えをもつ。(読(1)ウ・エ)	1 作品を通読し、印象に残った表現を抜き出して発表する。(学習1) 2 場面の展開に沿って、「私」の気持ちの変化とその理由を整理する。(学習2-1) 3 情景描写と「私」の気持ちとの関係を考える。(学習2-2) 4 登場人物の気持ちを想像して、この後の作品の続きを考える。(学習3) 5 学習を振り返る。 1 作品を通読し、どのよう	関 読 言	作品の展開や登場人物の描写に興味をもって読もうとしている。 情景描写に着目し、登場人物の心情の変化を捉えている。 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。	・授業観察 ・ノート ・ワーク ・定期考査	『『平和』について考えよう (6年) 「ちいちゃんのかげおくり」 (3年) 「一つの花」(4年) 「スーホの白い馬」 (2年) 「モチモチの木」 (3年)
	大人になれなかった弟たちに	登場人物の行動や情景描写などに着目し		関	時代背景や人物の描写に関心	・授業観察	

	<p>④ 4時間</p>	<p>て読み、作者の思いを捉える。(読(1)ウ) (伝国(1)イ(オ))</p> <p>表現の特徴や、時代の描かれ方などに着目し、自分を見つめ、生き方を深めていくことの大切さを考える。(読(1)エ・オ)</p> <p>「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。 ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。 (伝国(1)ウ(ア)(イ))</p>	<p>な時代の作品かを大きく捉える。 2 「母」が食べ物をあまり食べなかったり、「僕」が「ヒロユキ」のミルクを盗み飲みしてしまったりした理由を考える。(学習1) 3 作品の描写を読み取り、登場人物の気持ちを考える。(学習2) 4 作品に描かれた時代を考えながら、「大人になれなかった弟たちに……」という題名のもつ意味について話し合う。(学習3) 5 学習を振り返る。</p>	<p>読 言</p>	<p>をもって読もうとしている。 情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み取っている。 繰り返し表現や「……」などの表現が、効果的に使われていることを理解している。 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。</p>	<p>・ノート ・ワーク ・定期考査</p>	
練習	<p>わかりやすい案内文を書く 1時間</p>	<p>◎わかりやすく伝えるために、書いた文章の内容を整理し、案内文を工夫して書く。 (書(1)工)</p>	<p>1 案内文の書き方について確認する。 2 教材の「案内文の下書き①」を、わかりやすく案内する方法を考えて、書き改める。 3 教材の「案内文の下書き」と同様の内容を、小学校6年生に出す場合で書く。</p>	<p>関 書</p>	<p>事柄や目的に応じた項目を立てて、相手に伝わりやすい案内文を書こうとしている。 教材の「案内文の下書き」を基に、項目ごとに整理し、読み手を意識してわかりやすい案内文を書いている。 わかりやすい言葉や慣用表現を適切に用いている。</p>	<p>・授業観察 ・ワーク ・ワークシート ・定期考査 ・200字作文</p>	
シカの「落ち穂拾い」 ——フィールドノートの記録から	<p>5時間</p>	<p>◎示されている事実と、筆者の考えとの関係を読み取る。(読(1)イ) ◎筆者の考えの述べ方や、図表の役割と効果を考える。(読(1)エ) ★文章と図表との関連を考えながら、説明の文章を読む。(読(2)イ)</p>	<p>1 グラフや表に注意しながら、全文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 2 筆者がどのような事実に興味をもって、調査を始めたのかを確認する。(学習1) 3 筆者は観察で得たどのような事実をもとに、どのような仮説を立てたのかを理解する。(学習2-1) 4 筆者が上げた二つの仮説は、どのような事実</p>	<p>関 読 書</p>	<p>動物の生態など内容に興味をもって読もうとしている。 図表に着目しながら文章を読み、論理の展開を理解している。小見出しの効果について理解し、自分の考えをまとめている。 箇条書きや小見出しに着目して読み、その効果について考えている</p>	<p>・授業観察 ・ノート ・ワーク ・定期考査 ・200字作文</p>	<p>「一つの花」(4年) 「千年の釘にいどむ」(5年) 「森へ」(6年) 「新しい友達」(5年)</p>

10	<p>漢p127「漢字を確認しよう」</p> <p>調べたことを報告しよう レポートにまとめる 4時間</p> <p>漢字2 漢字の音訓 1時間</p>	<p>○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。 (伝国(1)ウ(7)(イ))</p> <p>◎課題に合わせて、集めた材料を整理する。(書(1)ア・イ) ◎調べた内容がわかりやすく伝わるように、構成に沿って文章にまとめる。 (書(1)エ)</p> <p>★日常中から話題を探し、報告の文章(レポート)を書く。(書(2)ウ)</p> <p>◎漢字の音と訓について理解する。(伝国(1)ウ(7)) ○小学校で学習した漢字について理解を深める。(伝国(1)ウ(イ))</p>	<p>よって検証されたか確認する。(学習2-2)</p> <p>5 仮説の検証を通じて、筆者はどのようなことを知り、どのような課題をもったのか確認する。(学習2-3)</p> <p>6 小見出しや図表の役割と効果について考える。 (学習2-4)</p> <p>7 筆者の考察の導き出し方について、わかりやすく感じたところや気づいたことについて意見を述べ合う(学習3)</p> <p>8 学習を振り返る。 ・筆者はどのような手順で「考察」を導き出していたか。 問題に取り組む。</p> <p>1 教材文を読み、レポートの形式に沿ってまとめる方法について理解する。 2 報告する課題を決める。 3 調査して材料を集める。 4 集めた材料を整理する。 5 レポートの構成を確認する。 6 レポートの構成に沿って、文章にまとめる。 7 レポートを読み合って、意見を交換する。 8 学習を振り返る。</p> <p>1 導入の例を基に漢字には「音」と「訓」があることを理解する。 2 「音」「訓」の歴史や性質を理解する。</p>	<p>言</p> <p>関</p> <p>書</p> <p>言</p> <p>関</p> <p>言</p>	<p>問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。</p> <p>日常生活を振り返って話題を探し、構成を考えてレポートを作成しようとしている。 教科書の例を参考にして、調べたことを整理し、構成を工夫してレポートを書いている。 情報を的確に伝える表現や構成に気づき、自分のレポートに取り入れている。</p> <p>漢字の音・訓に関心をもち、漢字の理解を深めようとしている。 例の漢字を基に、漢字の音・訓について理解し、既習の漢字に</p>	<p>・授業観察 ・ワーク ・200字作文 ・ワークシート ・レポート</p> <p>・授業観察 ・ノート ・ワークシート ・ワーク ・定期考査</p>	<p>漢字の音と訓 (3年)</p>
----	--	--	--	---	---	--	------------------------

	<p>言葉2 指示する語句と接続する語句 2時間</p>	<p>◎指示する語句と接続する語句の働きや効果について理解する。(伝国(1)イ(I))</p>	<p>3 漢和辞典を利用して練習問題を解き、漢字の音・訓を調べ、短い文を作る。</p> <p>1 導入の例文から、指示する語句と接続する語句がどのように使われているかを確認する。</p> <p>2 指示する語句(「こそあど言葉」)の働きを教科書の表を基に整理して理解する。</p> <p>3 接続する語句の働きの種類を教科書の表を基に整理して理解する。</p> <p>4 p137「読むことに生かす」を読み、指示する語句と接続する語句に着目することで、文章の展開や構成をつかむ手がかりになることを理解する</p>	<p>関 言</p>	<p>おいても音・訓について調べ、語彙を広げている。</p> <p>指示する語句と接続する語句の文章中での働きを理解しようとしている。</p> <p>指示する語句と接続する語句の働きや効果について理解している。</p>	<p>・200字作文</p>	<p>こそあど言葉(3年) 文と文をつなぐ言(4年)</p>
	<p>5 いにしえの心に触れる音読を楽しもう いろは歌 1時間</p>	<p>◎仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。(伝国(1)ア(7))</p>	<p>1 「いろは歌」を仮名遣いに注意して音読する。</p>	<p>関 読 言</p>	<p>「いろは歌」を読み、言葉のリズムに親しもうとしている。</p> <p>「いろは歌」を音読し、現代語訳を参考に内容に親しんでいる。</p> <p>「いろは歌」の言葉の調子や間の取り方などを考えて音読している。</p>	<p>・授業観察 ・ノート ・ワーク ・定期考査</p>	<p>いろはかるた(2年) いろは歌(3年)</p>
	<p>月に思う 1時間</p>	<p>◎月を題材にした随筆を読み、古典には、さまざまな種類の作品があることを知る。(伝国(1)ア(7)(1))</p> <p>◎文章に表れているものの見方や考え方を捉える。(読(1)オ)</p>	<p>1 全文を通読し、古典が現代まで読み継がれてきたことを知る。</p> <p>2 月を題材にした百人一首の歌を探して音読し、古典特有のリズムを味わう。</p>	<p>関 読</p>	<p>本文を読み、古典の世界に関心をもとうとしている。</p> <p>昔の人の季節の感じ方を捉えている。</p>	<p>・授業観察 ・ノート ・ワーク ・定期考査</p>	<p>枕草子(5年) 徒然草(5年) 俳句(3、4、6年) 竹取物語(5年)</p>
	<p>蓬萊の玉の枝 —「竹取物語」から 4時間</p>	<p>◎語句に注意しながら、現代の文章と古典の文章とで異なる部分を確認、古典の文章の表現の特徴を知る。(読</p>	<p>1 全文を通読する。</p> <p>2 現代の文章と古典の文章とで異なる部分を確認しながら物語の展開を楽し</p>	<p>関 言</p>	<p>古典の文章を、興味・関心をもって繰り返し音読しようとしている。</p> <p>現代の文章とは異なる表現</p>	<p>・授業観察 ・ノート ・ワーク ・定期考査</p>	

11	<p>今に生きる言葉 2時間</p> <p>6 論点を捉えて 幻の魚は生きていた 5時間</p> <p>練習 流れを踏まえて話し合う 1時間</p>	<p>(1)ア・エ) ◎仮名遣いに注意し、古典のリズムを味わいながら音読し、古典の文章に読み慣れる。(伝国(1)ア(7)) ○「竹取物語」を通じて、古典の世界に触れる。(伝国(1)ア(1))</p> <p>◎故事成語の由来と意味を理解する。(読(1)ア) ◎「矛盾」の書き下し文を音読し、漢文独特の言い回しに読み慣れる。(読(1)エ)(伝国(1)ア(7)(1)) ◎自分の生活を振り返り、故事成語を使って体験文を書く。(書(1)ウ)</p> <p>◎文章の中心的部分を読み取り、要旨を捉える。(読(1)イ) ◎文章に表れている考え方を捉え、自分の見方や考え方を広げる。(読(1)オ) ◎筆者の主張に対する自分の考えを、具体的な根拠を挙げて書く。(書(1)ウ)</p> <p>◎話題や方向を捉えて話し合い、自分の考えをまとめる。(話聞(1)オ)</p>	<p>しむ。(学習2) 3 物語に登場する人々の思いや行動について、現代の自分たちの考えや行動と比較し、感じたことや考えたことを発表する。(学習3) 4 学習を振り返る。 1 教材文を読み、故事成語について理解する。 2 「矛盾」の文章を読む。 3 「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の言葉の意味や故事を調べる。(学習2-2) 4 調べた故事成語を使って自分の体験について短い文章を書く。 5 学習を振り返る。</p> <p>1 教材文を読み、序論・本論・結論に分ける。 2 序論の中心となる文に着目し、本論との関係について確認する。3 結論として筆者の考えがどのように書かれているか読み取る。 4 文章の要旨をまとめる。 5 筆者の主張に対する自分の考えをノートに書く。 6 グループでノートを回覧し、コメントを添える。 7 学習を振り返る。 1 教材文を読み、流れを踏まえた話し合いについて学ぶ。 2 「話し合いの例」を使って、班ごとにロールプレイ</p>	<p>や表記に注意して物語の展開を捉えている。 仮名遣いに注意し、古典特有のリズムを味わいながら音読している。</p> <p>関 故事成語の意味や由来に関心をもち、漢文の言い回しに読み慣れようとしている。 読 現代語訳を参考にして、故事成語の由来と意味を理解している。 書 調べた故事成語の中から、自分の体験に関連するものを選び、体験文を書いている。 例示されている故事成語の由来と意味を理解している。</p> <p>関 文章の要旨を捉え、自分の考えを広げようとしている。 読 文章の要旨を捉えている。 書 具体的な根拠を挙げて、自分の考え(共感・納得、疑問・反論)を書いている。 環境や生物に関する言葉の意味を理解している。</p> <p>関 話し合いの話題や方向を捉えて、自分の考えをまとめようとしている。 話聞 話し合いの話題や方向を捉えて、適切な発言をしている。</p>	<p>・授業観察 ・ノート ・ワーク ・聴き取りテスト ・定期考査 ・200字作文 ・作品</p> <p>・授業観察 ・ノート ・ワーク ・聴き取りテスト ・定期考査 ・200字作文 ・発表</p> <p>・授業観察 ・ノート ・ワーク ・ワークシート ・聴き取りテスト</p>	<p>故事成語 (4年)</p> <p>『ことわざブック』を作ろう (4年)</p> <p>「『仕事リーフレット』を作ろう」(4年) 「ようこそ、わたしたちの町へ」(6年) 「資料から分かった</p>
----	--	---	---	---	---	--

	<p>話題や方向を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする 5時間</p>	<p>◎日常生活の中から話題を決め、交流を通じて話し合いの材料を集める。(話聞(1)ア) ◎話し合いの話題や方向を捉えて、相手の反応を踏まえて話したり自分の考えをまとめたりする。(話聞(1)イ・オ)</p>	<p>ングを行う。 3 空欄に当てはまる言葉にはどんなものがあるか検討する。 1 教材文を読み、話題や方向を捉えた話し合いについて学ぶ。 2 話題に対する自分の考えをノートにまとめる。 3 話題ごとに小グループを作り、グループ・ディスカッションを行う。4 話し合いの結果を報告し合う。 5 学習を振り返る。</p>	<p>関 話 聞</p>	<p>る。 話し合い積極的に参加し、発言したり、他者の発言に耳を傾けたりしている。 日常生活の中から話題を決め、交流を通じて話し合いの材料を集めている。</p>	<p>・定期考査 ・200 字作文</p>	<p>ことを発表しよう」 (3年) 「だれもがかかわり合えるように」 (4年) 「『平和』について考える」 (6年)</p>
	<p>練習 感じたことを整理する 1時間</p>	<p>◎感じたことや読み取ったことを、観点を立てて整理する。(書(1)イ・ウ)</p>	<p>1 教材文を読み、示された絵から感じたことなどを付箋に書き出す。 2 書き出した付箋を観点別に整理する。 3 書き出した具体的な特徴が、鑑賞文を書く際に自分の考えの根拠となることを確認する。</p>	<p>関 書</p>	<p>絵の特徴や感じたことなどを複数の付箋に書き出している。 絵から感じたことや読み取ったことを観点別に整理できている。</p>	<p>・授業観察 ・ノート ・ワーク ・定期考査</p>	
12	<p>根拠を明確にして魅力を伝えよう 鑑賞文を書く 4時間</p>	<p>◎作品を鑑賞し、その魅力を根拠を明確にして文章を書く。(書(1)ウ・エ)(伝国(1)イ(リ)) ○書いた文章を互いに読み合い、作品の捉え方や表現のしかたについて意見を述べる。(書(1)オ)</p>	<p>1 自分の好きな作品を選び、その魅力を一文で表現する。 2 作品から感じることや読み取れる特徴を付箋に書き出し、観点別に整理する。 3 観点ごとに自分が感じた魅力の根拠となる具体的な特徴をまとめる。 4 鑑賞文を書く。 5 書いた鑑賞文を読み合い、互いの見方や感じ方、表現のしかたの違いにつ</p>	<p>関 書 言</p>	<p>好きな作品を選び、その魅力を表現しようとしている。 根拠を明確にして、その魅力を伝える文章を書いている。 読み手に伝わるような鑑賞文にするために、印象や感動を表す言葉を探し、書いている。</p>	<p>・授業観察 ・ワークシート ・作文</p>	

竹 1時間	◎表現の特徴について、自分の考えをもつ。(読(1)エ) ★詩を音読する。(読(2)ア)	1 表現の特徴を捉え、リズムを楽しみながら繰り返し音読する。 2 音読して抱いたイメージや表現の特徴などについて考える。 3 学習を振り返る。	関 読 言	作品の表現のしかたに関心を持ち、進んで音読の練習に取り組もうとしている。 表現の特徴や効果について、自分なりの考えをまとめている。 表現の特徴に着目しながら早さや間の取り方などを工夫して音読している。	・授業観察 ・ノート ・ワーク ・定期考査 ・200字作文	「詩の楽しみ方を見つけよう」(5年)
文法への扉2 言葉の関係を考えよう 2時間	◎文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。(2年伝国(1)イウ)	1 例文を音読し、正しく伝えるためには、文節どうしの関係(主・述の関係など)を捉えることが大切なことに気づく。 2 p244 文法2「文の組み立て」を読み、文節の役割を知り、文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。	関 言	文の決まりに関心を持ち、文節どうしの関係などについて理解しようとしている。 文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて整理した内容を理解している。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査 ・200字作文	
読書に親しむ 桜守三代 読書案内 1時間	◎文章に表れている考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くする。(読(1)オ) ★課題に沿って、多様な本を読む。(読(2)ウ)	1 教材文を読み、気になったり興味をもったりした箇所に線を引く。 2 佐野藤右衛門(16代目)の生き方やものの見方・考え方について自分の考えをノートにまとめる。	関 読	人物の生き方に興味を持ち、他の伝記作品への関心をもっている。 描かれている人物の生き方や考え方を捉えている。 語句の文脈上の意味を捉えている。	・授業観察 ・ノート ・ワーク ・定期考査	
書き初め 5時間	書き初めの意義や用紙の使い方を理解し、字形に注意して書く。 (伝国(2)アイ)	書き初め用紙に配列や字形を意識して書かせる。	関 言	書き初め用紙に適した字形を書こうと意欲的に取り組んでいる。 書体の特徴を理解して書いている	・授業観察 ・作品	
小倉百人一首 4時間	競技カルタの方法を知り、和歌に親しむ。 (伝国(1)ア)	有名な和歌や著名な歌人の歌に触れさせ、日本の文化に親しませる	関	「小倉百人一首」に触れ、和歌の世界に関心をもとうとしている。	・授業観察	

1	書き初めの鑑賞 1時間	書き初めの意義や用紙の使い方を理解し、字形に注意して書く。 (伝国(2)アイ)	書き初め用紙の使い方や字形を鑑賞させる。	読	古文特有のリズムを味わいながら古典の世界に触れて、和歌の見方を広げている		
	7 自分を見つめて 少年の日の思い出 7時間(読⑤書②)	◎場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。(読(1)ウ・エ) ◎文脈の中における語句の意味を正確に捉えて作品を読み、登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。(読(1)オ)(伝国(1)イ(イ)(リ)) ○主人公以外の人物の視点で作品を書き換え、互いに読んで感想や意見を交流する。(書(1)ウ・オ)	1 情景や登場人物の気持ち想像しながら、全文を通読する。 2 語り手の転換に注意しながら、全体を前半と後半の二つに分け構成を捉える。(学習 1) 3 「僕」と「エーミール」の関係を読み取り、最後の「僕」の行動の意味を考える。 4 作品をもう一度読み返し、「僕」のものの見方や考え方について、共感するところや疑問に思うところを話し合う。(学習 3) 5 学習を振り返る。 6 作品の読み取りを深めるために、主人公以外の人物の視点で作品を書き換える。	関 関 関 読 書 関 関	作品鑑賞に積極的に取り組んでいる。 書き初め用紙や字体の特徴を理解して鑑賞している。 作品を読み、情景や登場人物の気持ちに関心を向けようとしている。 場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えている。 別の人物を選び、その人物の気持ちや考えを物語の流れに沿って書き換えている。 場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目して作品を読み進めている。	・授業観察 ・ワークシート ・授業観察 ・ノート ・ワーク ・定期考査 ・作文	「海をかつとばせ」 (3年) 「ごんぎつね」 (4年) 「わらぐつの中の神様」 (4年) 「大造じいさんとガン」 (5年) 「カレーライス」 (6年) 「物語を作ろう」 (5年) 「この絵、わたしはこう見る」 (6年)
	言葉3 さまざまな表現技法 2時間	◎言葉の並べ方の工夫や比喻(たとえ)について理解する。(伝国(1)イ(オ))	1 導入の例を読み、表現の違いによる印象の違いを挙げる。 2 「言葉の並べ方の工夫」を読み、表現技法によるリズムの違いや効果について考える。 3 「比喻(たとえ)」を読み、それぞれの比喻による印	関 関	様々な表現の工夫について理解しようとしている。 言葉の並べ方の工夫や比喻について、それぞれの表現上の特質などを理解している。	・授業観察 ・ワーク ・定期考査	

2	漢字3 漢字の成り立ち 2時間	◎漢字の成り立ちについて理解する。 (伝国(1)ウ(ア)) ○小学校6年生で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(イ))	象の違いや効果について考える。 1 漢字の成り立ちについて理解する。 2 漢和辞典を利用して練習問題を解き、漢字の成り立ちを調べ、分類する。	関 言	漢字の成り立ちに関心を持ち、漢字の理解を深めようとしている。 漢字の成り立ちについて理解し、練習問題の漢字を分類している。	・授業観察 ・小テスト ・200字作文	漢字の成り立ち (5年)
	印象深く思いを伝えよう 新入生へメッセージを書く 5時間	◎伝えたい自分の考えや気持ちを、相手や目的を考えながら書く。(書(1)ア・ウ) ◎文章を読み返し、わかりやすく、印象深いものになっているかを推敲する。(書(1)エ)	1 相手意識・目的意識をもってメッセージの題材を選ぶ。 2 メッセージの内容と構成を考える。 3 表現の工夫を考える。 4 下書きし、推敲する。 5 清書をする。 6 メッセージを読み合い、感想を伝え合う。 7 学習を振り返る。	関 書 言	自分の考えや気持ちを、相手の目的に合ったメッセージになるように書こうとしている。 文章を読み返し、わかりやすく、印象深いものになっているかを推敲する。 文章の構成や表現の工夫を考えて文章を書いている。	・授業観察 ・ノート ・ワーク ・作品 ・発表	
3	文法への扉3 単語の性質を見つけよう 3時間	◎単語の分類について理解する。(伝国(1)イ(Ⅰ))	1 例題のカード並べを考え、単語の性質の違いに気づき、単語を分類していく観点があることを理解する。 2 p249 文法3「単語の分類」を読み、自立語と付属語、活用の有無、品詞、体言と用言について理解する。	関 言	単語の性質について関心を持ち、単語の分類を理解しようとしている。 自立語と付属語、活用の有無、品詞、体言と用言について整理し、理解している。	・授業観察 ・ノート ・ワーク ・定期考査	「みんなできめよう」(2年) 「わたしたちの学校行事」(3年) 「豊かな言葉の使い手になるためには」(5年)
	一年間の学びを振り返ろう 6時間(話聞④書②)	◎伝えたいことを、効果的な図表を入れたポスターにまとめて、互いに読み合い、自分の表現に生かす。(書(1)ウ・オ) ◎学んだことの中から題材を選び、材料を集めながら考えをまとめて、整理してポスターを作る。(書(1)ア・イ)(伝国(1)イ(Ⅱ)) ◎発表内容について、話の構成を工夫	1 ポスターセッションの方法と進め方を知る。 2 1年間の国語学習を振り返り、印象に残っているものを選ぶ。 3 同じ題材を選んだ者どうしてグループを作って話し合い、文章を分析する。	関 話 聞 書	印象に残った題材をポスターにまとめて、協力して発表に取り組もうとしている。 話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら発表している。 1年間の国語学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめている。	・授業観察 ・ノート ・ワーク ・発表	

		<p>して話したり，他のグループの発表を聞いたりする。(話聞(1)ア・イ・エ)(伝国(1)イ(ウ))</p>	<p>4 発表する内容を決め，材料を集める。 5 集めた材料を基に，ポスターにまとめる。 6 発表の準備と練習をする。 7 ポスターセッションを行う。 8 発表を振り返り，互いに感想を伝え合う。 9 学習を振り返る。</p>	<div>言</div>	<p>聞き手が興味をもつような言葉や構成を考え，ポスター作りに取り組んでいる。</p>		
<p>ぼくが ここに 2時間</p>	<p>◎文脈の中における語句の意味を捉え，表現の特徴について自分の考えをもつ。(読(1)ア・エ) ★詩を朗読する。(読(2)ア)</p>	<p>1 作者の思いを想像しながら詩を音読する。 2 詩の中で心に残った言葉や表現を抜き出し，理由をまとめる。(学習 1) 3 表現されていることについてグループで交流し，互いの発表したことをメモする。 4 表現などを意識して詩を朗読する。 5 学習を振り返る。</p>	<div>関</div> <div>読</div> <div>言</div>	<p>作品の表現の特徴を捉え，朗読に生かそうとしている。 作品の中の語句の意味や表現の特徴を捉え，自分の考えをもっている。 語句や表現の効果や特徴に着目している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ノート ・ワーク ・200 字作文 		